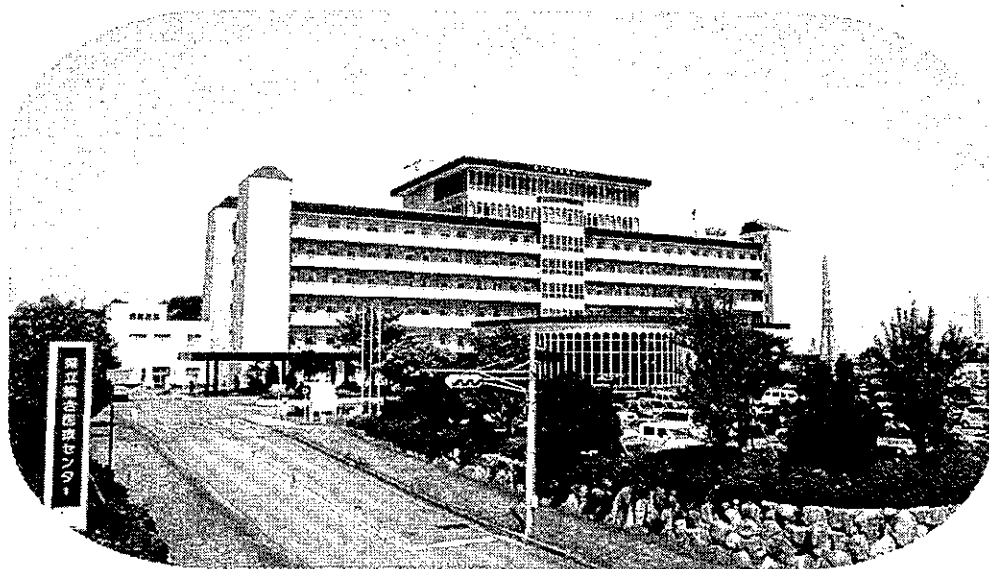


# 三重県立総合医療センターの概要

(平成22年度1月末現在)



三重県立総合医療センター

# 目 次

	ページ
1 総合医療センターの基本理念等	1
2 総合医療センターの概要	
(1)沿革	2
(2)施設概要	3
(3)組織	4
(4)職員の状況	5
3 診療の概要	
(1)各科別患者数の推移	6
(2)～(6)手術件数等の推移	7
4 決算の概要	8
5 主な取組・役割	9

## 基本理念

- 1 救命救急、高度、特殊医療等を提供することにより、県の医療水準の向上に貢献します。
- 2 安全・安心で互いにささえあう社会の実現に向けて医療面から貢献します。

## 基本方針

- 1 患者の皆様の権利を尊重し、信頼と満足の得られるチーム医療を提供します。
- 2 県の基幹病院として医療水準の向上に努め、安全で質の高い医療を提供します。
- 3 県内医療機関との連携を強化し、地域医療の充実に努めます。
- 4 職場環境を改善し、職員のモチベーションの向上に努めます。
- 5 公共性と経済性に配慮した健全な経営を行います。

## 受診される皆様の権利

- 1 人として尊重された最善の医療を受ける権利があります。
- 2 医療行為についての情報提供と説明を受ける権利があります。
- 3 患者の皆様の理解と同意に基づいた医療を受ける権利があります。
- 4 診療情報の保護により、プライバシーを尊重される権利があります。

## 守っていただく事項

- 1 心身の健康状態などの必要事項については、正確で詳細な情報をお伝え下さい。
- 2 医療行為は、理解と合意のうえで受けてください。
- 3 お互いに、礼儀正しく社会的ルールをお守りください。
- 4 医療費の支払い請求を受けたときは、速やかにお支払いください。

## 2 総合医療センターの概要

### (1) 沿革

平成 6年10月	県立総合医療センター開院 救急病院の指定 身体障害者福祉法による更生医療指定病院の承認 結核予防法指定病院の承認・生活保護指定病院の承認 母子保健法による養育医療指定病院の承認 臨床研修指定病院の承認 保険医療機関の指定承認 労災保険指定病院の変更承認・労災保険義肢採型指導医の指定変更承認 労災アフターケア実施医療機関指定変更承認
7年 4月	NICU施設承認
8年 2月	エイズ拠点病院の指定
4月	八代院長 宗行 万之助
9年 1月	災害拠点病院の指定
11年 4月	九代院長 鈴木 宏志 適時適温給食導入
12年 1月	西棟・手術棟完成
13年 3月	6階東病棟改修完了
4月	第二種感染症病床指定医療機関の指定 病床数（一般 412床、救命救急センター30床、感染症病床4床）許可
7月	セミオープンベットの開設
14年 8月	地域がん診療連携拠点病院の指定
10月	十代院長 小西 得司
15年 3月	地域周産期母子医療センターの指定
8月	新オーダーリングシステム導入
9月	救命救急センター HCU ICU CCUに分離(ICU CCU 7床→6床)
16年 3月	(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価認定(Ver.3) パーキングシステム設置
4月	患者相談窓口を設置
6月	化学療法室を開設(6床)
17年11月	太陽光発電システム設置
18年 1月	緩和ケア外来開設
8月	電子カルテシステム稼働
20年 3月	放射線治療システム(ライナック)の更新
20年 4月	十一代院長 高瀬 幸次郎
4月	クレジットカード決済開始 災害用地下水供給システム稼働
7月	セカンドオピニオン外来開設
10月	化学療法室の移転・増床(7床→10床)
11月	自治会との災害給水協定締結 血管造影撮影装置(心臓・頭腹部アンギオ)の更新
21年 4月	DPC(医療費定額支払制度)開始
21年 6月	(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価認定(Ver.5)
21年 8月	がんサポート室開設
21年10月	7対1看護基準取得
22年 6月	地域連携室移転整備(「かけはし」の開設)
22年10月	320列マルチスライスCT装置導入

## (2) 施設概要

### ① 診療科目(19診療科)

内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、脳神経外科、小児科、産婦人科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻いんこう科、精神科、神経内科、放射線科、麻酔科

### ② 病床数

一般	412床
感染症病床	4床
救命救急センター	30床
計	446床

### ③ 本館敷地・建物概要

敷地面積 ----- 59,450.90m<sup>2</sup>  
建物規模 ----- 地下1階、地上7階、塔屋2階

建物構造 ----- 高層部SRC造、低層部RC造  
建築面積 ----- 9,549.15m<sup>2</sup>  
延床面積 ----- 29,176.89m<sup>2</sup>  
駐車台数 ----- 約700台

### ④ 附属施設

医師公舎	RC2階建	延床面積	517.86m <sup>2</sup> (12戸)
看護師宿舎	RC3階建	延床面積	1,758.99m <sup>2</sup> (68室)
院内保育所	RC平屋建	延床面積	233.40m <sup>2</sup>

### ⑤ 主な医療機器

H22: X線CT(320列)、H21: ガンマカメラ、H20: 頭腹部アンギオ、心アンギオ、H19: ライナック

### ⑥ 厚生施設

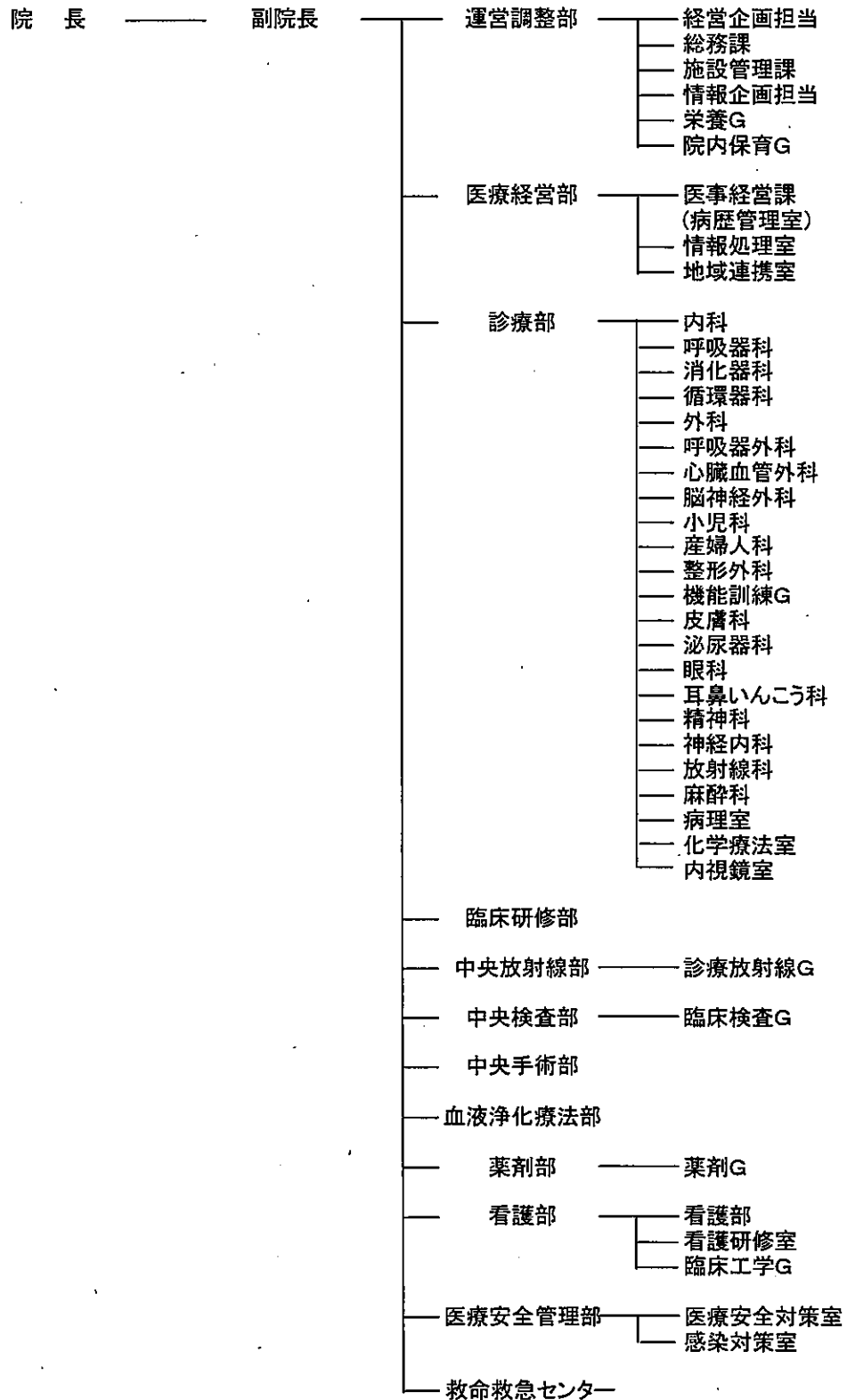
食堂(7階)  
売店、喫茶、自販機コーナー、授乳室(1階)

### ⑦ 付帯設備

医療情報システム(電子カルテシステム)  
リニア搬送システム  
屋上ヘリポート  
院外処方FAXステーション  
災害備蓄倉庫

(2) 組織

平成23年1月1日



(業務委託)

医事業務、夜間休日警備、電話交換業務、施設管理中央監視、検体検査業務、患者給食業務、医療機器保守点検業務、リネン業務、施設清掃業務、医療ガス供給設備の保守点検業務、感染性廃棄物の処理業務

(3) 職員の状況

平成23年1月1日

職 種		現 員
一 般 職	一 般 事 務 職	23
	電 気 技 師	1
	情 報 技 師	1
	保 育 士	3
	医 師	84
	薬 剤 師	16
	管 理 栄 養 士	3
	臨 床 検 査 技 師	22
	診 療 放 射 線 技 師	18
	理 学 療 法 士	5
	作 業 療 法 士	2
	言 語 聴 覚 士	1
	臨 床 工 学 技 士	3
	看 護 師	316
	助 産 師	16
	医 療 福 祉 技 師	2
	診 療 情 報 管 理 士	1
	保 健 師	0
	小 計	517
	現 業 職	病 院 施 設 管 理 員
看 護 助 手		4
小 計		8
合 計		525

職 種		現 員
業 務 補 助 職 員	看 護 師	45
	准 看 護 師	5
	看 護 助 手	10
	看 護 補 助	21
	臨 床 検 査 技 師	2
	診 療 放 射 線 技 師	2
	薬 剤 師	0
	管 理 栄 養 士	2
	言 語 聴 覚 士	1
	事 務 員	14
	労 務 員	1
	保 育 士	6
	社 会 福 祉 士	0
	司 書	1
	小 計	110
嘱 託 員	保 育 専 門 指 導 員	3
	薬 剤 師	1
	薬 剤 師	2
小 計	6	
合 計		116

H22年度は、H23年1月末現在です。

### 3 診療の概要

#### (1) 各科別患者数の推移

(単位:人)

年度		H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
区分						
内科	入院	6				
	外来	6,559	7,244	5,975	7,003	5,490
外科	入院	14,360	14,163	13,548	13,187	11,797
	外来	13,015	13,041	14,483	13,630	11,691
心臓血管外科	入院	5,112	4,237	3,941	3,732	2,213
	外来	1,995	1,738	1,713	1,708	1,294
脳神経外科	入院	8,046	8,690	10,123	8,812	7,479
	外来	5,554	5,884	5,784	5,765	4,696
小児科	入院	10,428	10,629	10,509	11,211	9,670
	外来	13,017	13,169	12,667	14,162	12,008
産婦人科	入院	10,724	10,053	9,372	10,929	9,355
	外来	14,820	13,770	14,659	14,483	12,176
整形外科	入院	11,118	11,529	10,707	11,007	8,976
	外来	13,766	14,455	16,506	14,315	9,989
リハビリテーション科	入院					
	外来	4,797	5,436	6	1	
皮膚科	入院	249	342	506	183	186
	外来	7,696	7,167	7,495	3,546	4,609
泌尿器科	入院	3,795	4,003	3,872	3,515	2,667
	外来	9,508	8,786	8,322	7,562	6,348
眼科	入院					
	外来	16	2	4	1	
耳鼻いんこう科	入院	2,155	2,142	2,085	762	229
	外来	6,689	7,412	7,709	5,590	4,019
精神科	入院					
	外来	7,094	6,721	6,262	5,836	4,549
放射線科	入院					
	外来	2,318	2,461	2,525	2,751	2,196
神経内科	入院	4,839	6,292	5,576	4,635	4,651
	外来	4,246	4,586	4,057	4,189	3,297
循環器科	入院	10,970	10,153	8,652	7,728	7,173
	外来	17,980	15,018	13,940	12,648	10,212
呼吸器科	入院	12,826	14,559	15,244	13,962	13,874
	外来	11,341	11,967	12,340	12,261	10,037
消化器科	入院	11,306	13,054	11,111	10,778	9,847
	外来	17,641	15,161	16,373	15,183	11,763
呼吸器外科	入院	2,587	2,215	2,600	2,123	1,320
	外来	358	398	548	530	444
計	入院	108,521	112,061	107,846	102,564	89,437
	外来	158,410	154,416	151,368	141,164	114,818
(参考) 救命救急センター	入院	(6,059)	(6,001)	(5,842)	(4,705)	(3,680)
	外来					

※平成15年度からオーダリング導入により患者数把握をレセプトベースに一歩化



H22年度は、H23年1月末現在です。

(2)手術件数の推移

(単位:件)

年度	H18	H19	H20	H21	H22
手術件数	5,926	6,264	6,343	5,993	4,775

(レフトベース) (内手術室実施件数2,721件) (内手術室実施件数2,776件) (内手術室実施件数2,891件) (内手術室実施件数2,845件) (内手術室実施件数2,289件)

(3)分娩件数の推移

(単位:件)

年度	H18	H19	H20	H21	H22
分娩件数	466	405	359	417	343

(レフトベース)

(4)平均在院日数の推移

(単位:日)

年度	H18	H19	H20	H21	H22
日数	13.5	13.3	12.8	12.0	12.0

(5)1日平均診療単価の推移

(単位:円)

年度	H18	H19	H20	H21	H22
入院	45,009	45,875	47,865	51,971	55,428
外来	12,526	12,881	13,714	15,370	16,353

(6)患者数の推移

【入院】

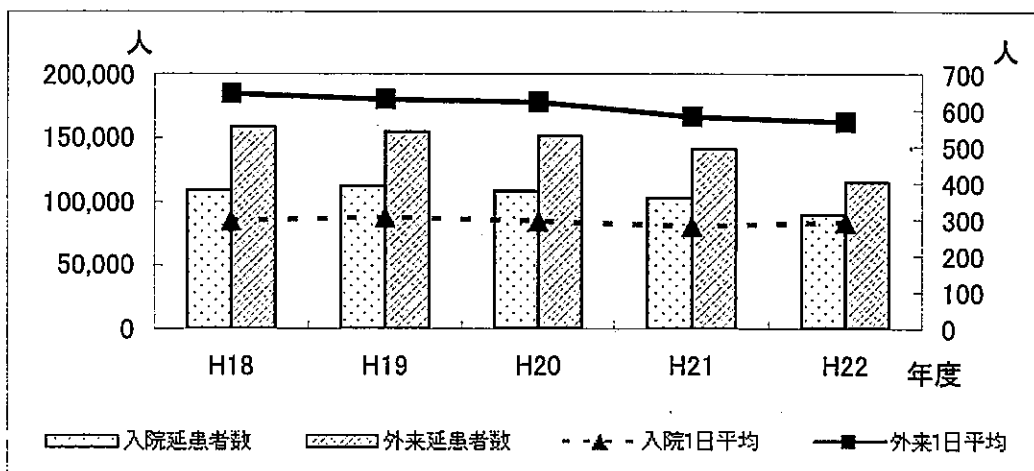
(単位:人)

年度	H18	H19	H20	H21	H22
延患者数	108,521	112,061	107,846	102,564	89,437
1日平均患者数	297	306	295	281	292

【外来】

(単位:人)

年度	H18	H19	H20	H21	H22
延患者数	158,410	154,416	151,368	141,164	114,819
1日平均患者数	647	630	623	583	568



#### 4 決算の概要

H22年度は、最終補正です。

##### (1) 収益的収支の状況

(単位:千円)

予算科目	H18決算	H19決算	H20決算	H21決算	H22最終補正
病院事業収益	8,277,516	8,581,664	8,988,717	9,250,961	9,984,864
医業収益	7,034,155	7,297,219	7,403,021	7,634,432	8,328,360
入院収益	4,884,413	5,140,850	5,162,087	5,246,999	5,878,652
外来収益	1,984,268	1,989,064	2,075,825	2,205,514	2,271,242
その他医業収益	165,474	167,305	165,109	181,918	178,466
医業外収益	1,243,361	1,275,042	1,585,696	1,616,529	1,656,504
受取利息配当金	0	0	0	0	0
他会計補助金	168,191	186,027	261,964	255,937	331,126
負担金	1,001,472	1,021,466	1,242,318	1,290,666	1,258,656
補助金	21,795	23,496	39,329	29,569	27,654
その他医業外収益	51,902	44,053	42,085	40,357	39,068
特別利益	0	9,404	0	0	0
病院事業費用	8,892,458	9,085,661	9,520,762	9,635,572	9,968,101
医業費用	8,112,303	8,300,232	8,686,592	8,895,725	9,339,173
給与費	4,121,436	4,164,964	4,357,350	4,523,201	4,738,958
材料費	2,066,239	2,130,130	2,252,628	2,339,492	2,445,408
経費	1,237,104	1,274,537	1,316,344	1,310,873	1,445,689
減価償却費	639,339	679,635	705,751	675,610	648,084
資産減耗費	19,915	27,246	27,616	13,218	20,087
研究研修費	28,269	23,720	26,903	33,332	40,947
医業外費用	761,403	762,589	740,098	725,767	574,036
支払利息	551,661	532,211	512,287	489,981	450,283
繰延勘定償却	39,416	40,256	41,326	41,968	42,120
患者外給食材料費	1,304	1,133	1,182	1,031	1,132
雑損失	169,023	188,988	185,303	192,787	80,501
特別損失	18,752	22,840	94,073	14,080	7,039
共通経費	0	0	0	0	41,554
病院間調整経費	0	0	0	0	6,299
医業損益	-1,078,147	-1,003,013	-1,283,571	-1,261,293	-1,010,813
経常損益	-596,190	-490,560	-437,972	-370,531	23,802
純損益	-614,942	-503,996	-532,045	-384,611	16,763

##### (2) 資本的収支の状況

予算科目	H18決算	H19決算	H20決算	H21決算	H22最終補正
資本的収入	628,085	916,246	676,918	986,554	1,709,737
企業債	190,000	295,000	248,000	518,000	1,204,500
国庫補助金	0	140,000	2,160	529	0
県費負担金	438,085	481,150	426,758	468,025	505,237
その他収入	0	96	0	0	0
資本的支出	1,032,488	1,211,208	956,437	1,285,840	2,034,234
建設改良費	363,828	463,880	278,812	211,002	1,217,592
企業債償還金	668,336	747,328	677,625	1,074,838	816,642
その他	324	0	0	0	0
資本的収支差額	-404,403	-294,962	-279,519	-299,286	-324,497

## 5 主な取組・役割

### ○救命救急センター

県北部の3次救急医療を担い、24時間体制で高度・専門的な医療の提供を行っています。

また、2次医療圏単位で構築される2次救急医療を周辺病院と病院群輪番制方式により担うことで、休日・夜間における入院治療を必要とする重症救急患者に対する医療を行っています。

### ○地域がん診療連携拠点病院

我が国に多いがんについて、住民が日常の生活圏の中で全人的な質の高いがん医療を提供する地域がん診療連携拠点病院に指定されており、地域医療機関と緊密な連携を図り、研修や情報提供を行うことにより、地域全体におけるがん医療水準の向上に貢献しています。

### ○特殊感染症や薬物・毒物中毒などへの対応

第2種感染症指定医療機関及びエイズ治療拠点病院として、県内で発生する特殊な感染症に対応しています。また、各種の薬物・毒物中毒に対する検査体制やワクチンの保管について、県内における唯一の対応を行っています。

### ○基幹災害医療センター

地震、津波、風水害などの自然災害や大規模な事故など、同時に多数の救急患者の発生時に救急医療の確保を図るため、重症・重篤な傷病者を受け入れるなど、災害時の医療救護活動において中心的な役割を担う基幹災害医療センター(災害拠点病院)の態勢を整えています。

また、四日市コンビナートに隣接する病院として、化学熱傷患者に対応するため、除洗装置などを備えるとともに、化学事故を想定した訓練を行っています。

### ○地域周産期母子医療センター及びNICU(未熟児新生児集中治療室)

地域周産期母子医療センターの指定(県内4箇所)を受け、北勢地域の基幹病院として、ハイリスク妊娠に対応しております。また開院時に県内で初となるNICU(未熟児新生児集中治療室)の認可を受けて、高度な小児医療を行っております。

### ○人材育成

平成16年度から始まった新医師臨床研修制度の管理型臨床研修病院として臨床研修医の育成に努めるとともに、後期研修医の受け入れを行い、専門医療のより高度な知識技術の習得により、全人的医療を行える医師の養成を行っています。

初期・後期研修医数は24名となっています。(23年1月1日現在)

看護の質を向上させるため、水準の高い看護実践を通じて看護師に対する指導・相談活動を行う認定看護師の養成を積極的に進めており、現在7名が活動を行っています。(22年8月1日現在)

救命救急センターを併設する病院として、救急救命士の養成研修を行なうとともに、気管挿管や薬剤(アドレナリン)投与の認定取得のための実習を受け入れています。

